

11/21 八日町町内会でおはやしをお披露目 仲間たちと作り上げたおはやしを披露

八日町町内会（藤村立夫会長）は、ことし開催中止となった「さんのへ秋まつり」の代替事業として、おはやしのお披露目を八日町町内会館で行いました。お披露目は、祭りの感覚を忘れないでほしい、祭り未経験の子どもたちに経験させたいという想いで開催されました。



活気あるおはやし



参加した皆さん

お披露目に参加した齋藤花穂さん（小中一貫三戸学園三戸小5年）は「お披露目の前は緊張したけれど、町内会の仲間たちと力を合わせて良いおはやしを披露することができました。来年は、さらに良いおはやしができるように練習を積み重ねていきたい」と話しました。藤村会長は「新型コロナ禍において、感染対策を万全に行い、安心・安全に開催できて良かった。来年の祭りに向けて、参加者の気持ちを盛り上げられたと思う」と、お披露目を振り返りました。

11/25 杉沢小中で「三戸町長と語る会」

杉沢の自然を大切に守っていききたい

三戸町立杉沢小中学校（田中康文校長）で「三戸町長と語る会」が開かれました。全校児童4人は、松尾和彦町長に、杉沢小中学校の行事紹介や、将来の杉沢小中学校校舎についての活用方法を提案。松尾町長は「杉沢の自然を多くの人たちに感じてほしい気持ちが伝わった」と提案に感心しました。その後、子どもたちは町長に「町長なら、閉校後の杉沢小中学校をどのように活用しますか」「どうしたら町長になれますか」など、気になったことを質問しました。藤澤きららさん（杉沢小3年）は「私の提案を町長に聞いてもらえてうれしかったです。これからも杉沢の自然を大切に守っていこうと思いました」と感想を話しました。



子どもたちの質問に答える松尾町長



子どもたちにおはなしを語る会員

12/9 斗川小学校でおはなし会

語りを通して、表現力を養う

絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」（久慈英子会長）は、小中一貫三戸学園斗川小学校（小田桐幸春校長）で、全校児童を対象におはなし会を行いました。おはなし会は、お話から豊かな情操を育み、読書の興味・関心を高めることを目的として行っています。おはなし会では、会員7人が昔話や外国のお話を語り、子どもたちは、興味深げに耳を傾け、お話の世界に浸りました。子どもたちは「お話を聞いていると、物語の場面が思い浮かんできて楽しかった」と話し、たくさんのお話に触れることができました。

久慈会長は「子どもたちが、私たちの語りを心で聞き、素晴らしい表現力で感想を話してくれて大変うれしく思いました」と、語りを通して子どもたちの心の成長を感じていました。絵本とお話を楽しむ会「ウヒアハ」では、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。【三戸町役場 住民福祉課まで ☎ 20-1151】

11/13 農業小学校販売会

おいしいもち米はいかがですか？

子どもたちが食や農業について学ぶさんのへ農業小学校（栗生正志校長）による農作物の販売会が町民体育館前で行われました。子どもたちは、自分たちが育てて収穫したもち米を自ら販売。販売開始前から多くの町民が会場に足を運び、用意されたもち米が開始から数分で完売する大盛況ぶりでした。販売を体験した子どもたちは「みんなで力を合わせて作ったもち米がたくさん売れてうれしかった」と話し、農業を通じて少しくましくなったようです。



もち米を販売する子どもたち



（左から）白戸県税部長、中村さん、馬場浩治副町長

11/17 県税納税知事表彰授与式

税の啓発活動に尽力したい

中村光男さんは、平成23年から現在まで「下目時納税貯蓄組合長」と「三戸町納税貯蓄組合連合会理事」として活動しており、組合の運営および納期内納付率向上に尽力したことが認められ、県税納税知事表彰を受賞しました。三八地域県民局県税部の白戸雅仁部長から表彰状を受け取った中村さんは「これからも税の啓発活動に尽力していきたい」と抱負を述べました。

12/3 山田組が県道路愛護等功労者表彰を受賞

町の環境美化に貢献

（株）山田組（山田幸一社長）は、平成22年から国道4号線の道路清掃活動を実施し、環境美化に貢献したことが評価され、県土整備部長表彰を受賞しました。受賞を松尾和彦町長に報告するため、役場を訪れた山田龍三郎専務は「地域のためになればと思い、12年間清掃活動を行ってきました。これからも活動を続け、地域に貢献していきたい」と話しました。報告を受けた松尾町長は「長い間、町の環境美化に貢献していただき感謝しています」と話しました。



（左から）松尾町長、山田専務



地域の魅力について紹介する生徒たち

12/10 三戸高校 BMC で五十嵐さんが講座

地域の魅力を広く発信

三戸高等学校（富田義明校長）ビジネスマネジメントコースの3年生7人は、五十嵐淳さん（サンノヘール代表）を講師に迎え「職業人としての能力を育成するための講座」を受講しました。講座は全6回実施。生徒たちは2班（1班：水梨聖香さん・西塚莉里さん・千浦玲於奈さん・川守田竣哉さん、2班：水梨陽沙志さん、大村茜さん、谷地村のあさん）に分かれ、町や周辺地域の魅力について、効果的に情報発信する知識や考え方を学びました。6回目講義では、グループごとにまとめた地域の魅力を発表。施設・観光地の活用案や、三戸高校の生徒が企画したお菓子「桜ハート」などを紹介しました。後日、まとめた内容を、三戸郡の情報を発信する情報媒体『サンノワ』で発信しました。（三戸郡のローカルメディア『サンノワ』：<https://sannowa-scoop.jp/>）

大村茜さんは「私たちの発信した地域の魅力が、多くの人の目に留まり、広まってくれたらうれしいです」と願いを込めました。

12/1 ヴィーナス保育園開園式 働く人、地域の子どもたちのために

働く人・地域の人たちの子どもを受け入れる企業主導型保育施設「ヴィーナス保育園」の開園式が行われました。開園式主催者の井ノ口幸子さん（社会福祉法人青幸会 理事長）は「保育園の立ち上げに、多くの企業が快く手助けをしてくれました。若者たちが和気あいあいとした町になってほしい」と願いを込めました。ヴィーナス保育園は、0歳児から2歳児まで対象（定員19人）で、月曜日から土曜日（日曜日・祝日は予約制、年末年始を除く）までの午前7時15分から午後6時15分（延長保育午後6時15分から午後7時30分）まで開園しています。入園の手続きなど、詳しくはお問い合わせください。（☎ 23-8933）



開園記念テープカット



（左から）福士本部長、慶長教育長

12/3 町教育委員会が JA 共済に感謝状を贈呈 毎日の体調管理に役立てる

町教育委員会は、全国共済農業協同組合連合会青森県本部（福士雅巳本部長）が町内小中学校に AI 顔認証検温サーモカメラシステムと消毒液 4ℓ を寄贈したことについて感謝状を贈呈しました。福士本部長は「子どもたちが元気で過ごすため、毎日の体調管理に役立てていただきたい」と話しました。慶長隆光教育長は「子どもたちの健康状態を確認するため、大切に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

12/4 土曜塾立志科で工藤さんが講話 言葉とコミュニケーションを大切に

三戸土曜塾の会（大庭礼子会長）は、三沢市佛心院大聖寺和尚の工藤教昭さん（元・悟真寺副住職）を迎え、立志科の授業で講話を行いました。工藤さんは、自身のハワイ修行の体験を交えながら、日本との文化の違いを伝えたほか、「言葉とコミュニケーションは、いつ、どこに居ても大切。基礎学習を怠らず、将来は三戸町を背負う立派な人たちにになってほしい」と話しました。佐藤遙乃さん（小中一貫三戸学園三戸小 6 年）は「講話の中で『日々是好日』という言葉が心に残りました。毎日の経験と時間を大切に、人のためになるような良いことをしていきたいです」と講話の感想を述べました。



体験談を語る工藤さん



消防職員と避難所運営ゲームを行う生徒たち

12/10 消防署と学校と町が連携した『防災教育』 防災を考えるきっかけに

小中一貫三戸学園三戸小中学校（小林孝史校長）7年生の立志科の授業で、消防署と学校と町が連携した『防災教育』を行いました。生徒たちは、避難所運営ゲームを体験し、災害時に使用する備蓄品を見学したことで、防災について考えるきっかけとなりました。

授業を受けた本堂晃佑さんは「災害が起こったときに必要な知識や備蓄品の種類を学びました。今後、災害があったときに生かしていきたい」と話しました。